

語彙力 ①

氏 名

組 番

得点 (100 点)

点

(出題ポイント) 日常生活でよく使われる語や慣用表現などを捜し、適切に使う能力を高めます。

1

「」内の指示にしたがって、①～⑩の□に適切な語句を補いなさい。

(各10点/計100点)

① 山頂はまだ雪でおおわれていたが、□はもうすっかり緑の世界だ。

〔「山のすそ」〈山麓^{さんろく}〉という意味の語(仮名書きで答えてもよい)〕

② 英語だけでなく、数か国語を□るようになりたい。

〔「道具やものやことばなどを巧みに使ったり、扱う」という意味の語(仮名書きで答えてもよい)〕

③ 私たちの学校でも、お年寄りとの□行事を何か考えないとね。

〔「互に行き来すること」をいう漢語(漢字書きで答えること)〕

④ 練習試合が□土曜日に組まれている。

〔「一週間おき」という意味の漢語(漢字書きで答えること)〕

⑤ 彼の音楽的□は天性のものだ。

〔「こまかな味わいを感じとることのできる能力」〈感覚〉を表す外来語〕

語彙力 ③

氏名

組番

得点 (100 点)

点

(出題ポイント) 日常生活でよく使われる語や慣用表現などを捜し、適切に使う能力を高めます。

1

「」内の指示にしたがって、①～⑩の「」に適切な語句を補いなさい。

(各10点/計100点)

① このチームをまとめるリーダーとして、君がもつとも「」と思うよ。

「あるものによく合っていて適当・適格・適任である」などという意味の語(仮名書きで答えてもよい)「」

② 大事なところでせり負けてしまうは、「」はり経験が「」からだなあ。

「足りない」「少ない」などという意味の語(漢字書きで交えた書き方で答えること)「」

③ 大声を出して「」に演奏を邪魔する「」を許されない。

「わざとすること」「をいう漢語(漢字書きで答えること)「」

④ なぜ給食費を払わないのか、「」がいくまで詳しく説明してほしい。

「もっともだとして認めること」「なるほど」「わかること」「という漢語(漢字書きで答えること)「」

⑤ 生徒会活動、なかなか活性化しないねえ。何かいい「」はないかなあ。

「良い結果を生み出す思いつき、考え」を表す外来語「」

表記能力①

氏名

組番

得点(100点)

点

(出題ポイント) 漢字・句読点を適切に用いて、読みやすく意味の分かりやすい文を書く能力を高めます。

1 次の文章中の「 」「」内を、漢字・句読点を適切に用いて、読みやすい表記に改めなさい。

(漢字＝70点・句読点＝30点／計100点)

先週の日曜日に、祖母、両親、おじいちゃん、おばあちゃんに京都の嵯峨野に紅葉を見に行った。「わたしのやくめは、にもつもちと、そぼのあしが、いたみだしたら、ちちといっしょに、ささえてあげる」ことだったが、さいわい、そぼは、げんいっばいで、こうようを、たのしんだ。いにも、すっかりつかれてしまったのは、ちちのほうだった。」

SAMPLE

文法力②

氏名

組番

得点(100点)

点

(出題ポイント) 文を構成する各成分の内容やその関係を意識して、文法的に整った分かりやすい文を作る能力を高めます。

1

次の各問に答えなさい。

(各50点/計100点)

問1 次の文章の傍線部の中で 省いた方がよいと思われる語句を答えなさい。

中学から新しい教科として英語が始まる。英語は外国の人たちと話すために欠かせないこと
 ばである。もしも、外国へ行った時、ことばが通じないと、とても困るだろう。そんな時に必
 要なのが新しく習う英語だ。

問2 次の文章中の では後の三つの内容を述べたい。それらを適切につないで、一つの文にしなさい。

ぼくは中学で入ってみたい部活が二つある。一つは野球部とバスケットボール部である。野
 球は少年野球でやっていた。その経験を生かして、浴でもやってみようかと思う。バスケット
 ボール部に入ってみたいと思う理由は、 の体育でやった時とても楽しかったことだ。
 野球でもバスケットボールでも、部活で

は一生懸命がんばりたい。

- ・今決めるとしたら野球部だ。
- ・大リーグの松坂投手にあこがれている。
- ・バスケットボール部にするかもしれない。

文法力④

氏名

組番

得点(100点)

点

(出題ポイント) 文を構成する各成分の内容やその関係を意識して、文法的に整った分かりやすい文を作る能力を高めます。

1

次は、クラス代表者会議の記録係が、生徒会誌に一年間の活動のまとめを書いた文章の一部です。これについて、後の問に答えなさい。(問1＝40点・問2＝各30点/計100点)

今期のクラス代表者会議が始まってからこれまで、あつという間に時間が過ぎたように思う。そう感じるのには、記録係として苦勞しながらも、充実した時間を過ごせたからではないだろうか。責任のある仕事を一通り果たすことができほつとしているが、これまでを振り返ると様々なことがあった。

……議事が多くても出される意見の内容がまとまっていて、議論もかみ合っているときは記録がしやすかったが、議事が少なく……内容にまとまりのない意見が多く、議論がかみ合わない時は、記録がしにくくて大変なこともあった。……

また、②ア () とイ () との矛盾に悩んでいた。生徒会活動に多くの人が関心を持ってやるような記録作りを目指してきたが、まだ十分とはいえない。次期の係には……高い目標を目指してほしいと思う。

問1 傍線部①を適切な形に改めなさい。

--

問2 傍線部②では、「会議の内容をできるだけ忠実に再現しよう」とすれば記録が長くて読みにくくなるし、会議の内容をできるだけ読みやすくまとめたいと思うと忠実な再現が難しくなる。この矛盾に悩んでいた」ということを述べたいと思います。(ア)(イ)にはどのようなことを述べればよいか、答えなさい。

イ	ア

表現力①

氏名	組番	点
得点(100点)		

(出題ポイント) 伝えるべき内容を適切に表現する能力を高めます。

1

遠藤君たち美術工芸部員は、恒例の「秋の陶芸体験会」について、顧問の先生を交えた話し合いをしました。次は、その結果をまとめたメモと、それにもとづいて書かれた掲示用の「お知らせ」です。

示用の「お知らせ」です。
 [A]には、^{だれ}誰もが気軽に参加できるように誘いの文を、
 [B]には、申し込みの方法を説明した文を、それぞれ補いなさい。
 (各50点/計100点)

(メモ)

陶芸体験会

- ・日時 十月八日(土)、午前九時～正午
- ・場所 工芸教室
- ・材料費 九四五円(当日集め)
- ・部室に申込用紙を用意する
- ・申込先 遠藤(三年B組)
- ・定員 三〇名(先着順)
- ・申込締切 十月六日(木)

【陶芸体験会のお知らせ】

美術工芸部では、今年も左記のように秋の陶芸体験会を行います。

記

日時 ……十月八日(土) 午前九時から正午まで
 場所 ……工芸教室
 材料費…九四五円(当日集めます)
 定員 ……三〇名(先着順)
 申込締切…十月六日(木)
 申込方法…

B	A
---	---



氏名	組番
----	----

得点(100点)	点
----------	---

(出題ポイント) 伝えるべき内容を選択・構成し、的確に表現する能力を高めます。

1 次にあげるのは、五年ごとに行われる総務省「社会生活基本調査」のスポーツに関する調査結果です。

「スポーツの行動者」とは、「過去一年間にスポーツ(軽い体操やウォーキングなども含むが、授業や研修などでのスポーツは除く)をした人」のことを言います。その「スポーツの行動者」が全体に占める割合を「スポーツの行動者率」と言い、一九八六年から二〇〇六年までの推移がグラフと表で示されています。このグラフと表からどのようなことが分かるかを述べた文章の空欄①～④に、適切な内容を補いなさい。(各25点/計100点)

図1 スポーツ(総数)の行動者率の推移 (15歳以上)

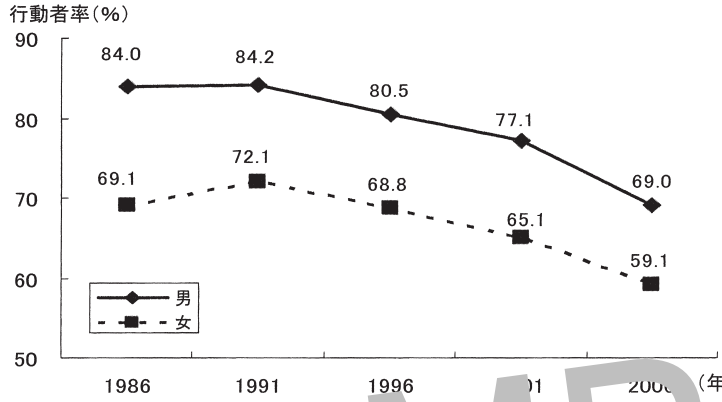


表1 年齢階級別スポーツの行動者率の推移 (男女別)(%)

a. 男

	1986	1991	1996	2001	2006	86～91	91～96	96～01	01～06	計(86～06)
15-19歳	94.6	92.3	91.7	89.9	84.3	-3.3	-2.6	-2.2	-4.4	-10.5
20-24歳	93.4	92.3	87.9	84.3	79.2	-1.1	-4.4	-4.4	-5.1	-14.0
25-29歳	93.6	92.7	88.1	83.6	76.2	-1.3	-3.6	-5.1	-7.4	-17.4
30-39歳	92.7	92.7	88.4	82.8	73.0	-0.4	-2.8	-5.6	-9.8	-18.6
40-49歳	87.1	88.2	84.4	81.2	73.1	1.1	-3.8	-3.2	-8.1	-14.0
50-59歳	73.7	77.8	77.1	74.9	65.8	4.1	-0.7	-2.2	-9.1	-7.9
60-64歳	69.2	70.7	68.7	72.4	66.4	1.5	-2.0	3.7	-6.0	-2.8
65-69歳	67.1	69.4	65.9	67.1	66.7	2.3	-3.5	1.2	-0.4	-0.4
70歳以上	57.3	60.0	56.1	57.3	50.1	2.7	-3.9	1.2	-7.2	-7.2
総数	84.0	84.2	80.5	77.1	69.0	0.2	-3.7	-3.4	-8.1	-15.0

b. 女

	1986	1991	1996	2001	2006	86～91	91～96	96～01	01～06	計(86～06)
15-19歳	92.6	92.1	87.9	80.4	74.3	-0.5	-4.2	-7.5	-6.1	-18.3
20-24歳	89.9	90.7	86.5	80.9	73.9	0.8	-4.2	-5.6	-7.0	-16.0
25-29歳	80.9	84.7	81.0	77.6	69.0	3.8	-3.7	-3.4	-8.6	-11.9
30-39歳	81.5	83.2	80.9	75.3	67.5	1.7	-2.3	-5.6	-7.8	-14.0
40-49歳	69.0	74.7	71.9	68.9	65.9	5.7	-2.8	-3.0	-3.0	-3.1
50-59歳	56.2	63.9	64.4	63.0	59.4	7.7	0.5	-1.4	-3.6	3.2
60-64歳	49.2	57.5	57.8	60.0	59.4	8.3	0.3	2.2	-0.6	10.2
65-69歳	48.1	53.1	53.1	55.5	55.4	5.0	0.0	2.4	-0.1	7.3
70歳以上	37.8	41.6	38.7	39.2	33.8	3.8	-2.9	0.5	-5.4	-4.0
総数	69.1	72.1	68.8	65.1	59.1	3.0	-3.3	-3.7	-6.0	-10.0

注：86～91等は1986年と1991年の行動者率の差(%ポイント)を表す。
(総務省統計局「社会生活基本調査」による)

図1は、スポーツの行動者率の推移を男女別に表したグラフです。このグラフを見ると、どの年の調査においても、男性の方が女性より高い行動者率を示していることがわかります。さらに、一九九一年以降に注目すると、①()ことが読み取れます。

次に、年齢別行動者率を示した表1を見ると、年齢が上がるにつれてスポーツの行動者率

が低くなっていること、行動者率が減少する年齢層が増えていることが分かります。一九九六年から二〇〇一年まででは男性の年齢の高い層で増加が見られますが、二〇〇一年から二〇〇六年にかけては、（ 2 ） 行動者率が減少しています。

また、年齢の高い層と低い層では、この二十年間の行動者率の変化に違いがあります。例えば、男性の（ 3 ） の年齢層と女性の15歳から19歳までの年齢層は、一九八六年の調査以来、一度も行動者率が増加したことがなく、行動者率の減少幅も他の年齢層と比べて大きくなっています。それに対して、女性の50歳から69歳までの年齢層は、二十年前と比較して行動者率が高い数値を示していますし、男性も年齢の高い層では行動者率の減少幅が小さくなっています。

こうしたことから、私たちが考えているスポーツ離れがすすんでいること、特に（ 4 ） にスポーツをしない人が増えていることが分かります。

4	3	2	1

SAMPLE